

お金（のこと）は大切です。

初年度納付金の目安（平成30年度の国公立大、私立大昼間部の平均額／単位：円）

文部科学省「国公立大学の授業料等の推移」より

区分	授業料	入学料	施設設備費	合計
国立大学＊1	535,800	282,000	施設費、実習費、諸会費などを払う場合あり	817,800
公立大学＊2	538,633	393,618	施設費、実習費、諸会費などを払う場合あり	932,251
私立大文系	785,581	229,997	151,344	1,166,922
私立大理系	1,105,616	254,309	185,038	1,544,963

＊1 文部科学省令による標準額。ただし、国立大の法人化により、学費については大学間で差が出てきている。

＊2 入学料は地域外入学者の平均額。

大学在学中（4年間）の学費合計（平成30年度の授業料を元に計算／単位：円）

区分	授業料	入学料	施設設備費	合計
国立大学	2,143,200	282,000	施設費、実習費、諸会費などを払う場合あり	2,425,200
公立大学	2,154,532	393,618	施設費、実習費、諸会費などを払う場合あり	2,548,150
私立大文系	3,142,324	229,997	605,376	3,977,697
私立大理系	4,422,464	254,309	740,152	5,416,925

※ここでは単純に4倍としていますが、大学・学部によっては学年が上がるにつれて授業料・施設設備費などが上がる場合があります。

学生生活でかかる年間の生活費（自宅通学とそれ以外の形態の平均／単位：円）

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）「平成28年度学生生活調査」より

区分	授業料 その他の学校納付金	修学費、通学費、 課外活動費	食費、住居・光熱費	保健衛生費、 娯楽・嗜好費	合計
国立大学	506,700	135,800	553,300	315,900	1,511,700
公立大学	537,200	124,100	446,400	323,700	1,431,400
私立大学	1,210,000	150,900	314,100	328,900	2,003,900
平均	1,046,500	146,900	364,500	328,900	1,884,200

「よりよく社会で生きるために～私のコロナウイルスへの立ち向かい方～」今回は3年生の例を紹介します。

もし私が「学童保育の職員」だったら

○困っていること

- ・小学校休校のあおりで勤務時間がのび、その分の人手が足りない。 ・自分たちだけ休めない。
- ・休校のしわ寄せとして感染リスクが学童保育に集中している。子供の衛生管理の問題や、複数の学区を受け持つ場合、保護者が預けることをいやがるかもしれない、などの懸念が考えられる。

⇒解決したいのは「学童保育の子供の集中」

○仮説 困っていることを解消するためのアイデア

- ・通っている小学校が近い子供達を小学校でみてもらう。 ・学年を限定する。（低学年の一人留守番できない子を優先する。）

○検証 全国の「放課後児童クラブ」に向けて厚生労働省がHPに対応をまとめていた。その中から仮説に関して言及している部分を検索。

①「小学校で子供をみてもらう」について

- ・学校の教師は各教育委員会の職務命令等に基づいて放課後児童クラブに協力できる。
- ・感染防止のため子供どうしの距離を保つために広い学校施設を利用することを推奨する。（これはコロナ拡大前から推奨していた「新放課後子ども総合プラン」によるものである。「新放課後子ども総合プラン」は、教育活動の一環のため、文部科学省の管轄である「放課後子供教室」と厚生労働省の管轄である「放課後児童クラブ」を合体させるプランである。）

②「学年を限定する」について

- ・優先的に預かるべき子供を具体的に挙げていた。最終的には市町村の裁量による。
例) 親が医療関係者、低学年、ひとり親家庭、障がいのある子供、など。

③その他 現場の声として

- ・子供どうしの距離をとらなければならないのに子供の数が増えてきて困っている。
- ・厚生労働省からなるべく開所するように言われたが、感染が不安である。

⇒大まかな方針は国が提示しているが、具体的には市町村の対応が重要。

- ・児童の広範囲の移動を防ぐため学区内で学童保育と小学校が連携する。
- ・自治体は支援の必要な学童保育と、人員・施設に余裕のある学校を把握し、なるべく近場ですりあわせを行う。

○検証 十和田市のHPで臨時休業中の対応について調べた。

十和田市では市の管轄である「仲よし会」（市立小学校14校にそれぞれ附属している学童保育）を利用して対応していた。

[対応] ・2020年3月の臨時休校時から「仲よし会」を夏休みなどと同じように午前8時から午後6時まで利用できるようにした。

（5月10日までの予定）

- ・2020年4月28日から、小学1～4年の児童、特別支援学級の児童・生徒、「仲よし会」に入っていない児童・生徒、家に家族がいない児童・生徒について、午前8時から午後3時まで在籍する学校での見守りを行うことにした。（5月8日までの予定）
- ・家庭でなるべく見守りを行うよう呼びかけていた。

○わかったこと

- ・学童保育について

厚生労働省管轄の施設と文部科学省管轄の施設があるため一括に国が具体的な措置をとるのは難しい。しかし、厚生労働省に関しては、大まかな方針を示すとともなるべく開所するよう呼びかけていた。

- ・十和田市の対応について

「仲よし会」に子供が集中することを市立小学校を開放することで防ぎつつ、「仲よし会」も運営していた。

○今後さらに検証の余地があること

- ・狭い施設内でいかに三密を防ぐか。
- ・ベビーシッターやNPO、子ども食堂など、学童保育と小学校以外の機関をどのように利用するか。またそれらの機関どうしの連携をどのようにとるか。

大学入学共通テスト 数学編 ○数学（数学Ⅰ・数学A、数学Ⅱ・数学B）

記述式になる予定だった問題が従来のマーク式として残り、「数学Ⅰ・数学A」では試験時間が10分伸びた70分となります。センター試験と同様に、基礎的知識・数学的思考力を問う、解答への過程を追う問題も出題されますが、共通テストでは知識だけではなく思考力が重視された問題が含まれます。日常的な場面で数学的な知識を活かすような問題や、問題の背景が長々と説明され、その条件を満たすような立式をしたのちに数学的な処理を行う問題など、国語と同様に「正確に」「スピーディーに」読解する力が数学でも必要と言えます。数学の基礎力を高めることはもちろんですが、数学を学ぶ時に、「この公式は何のために使う式なのか、どのような時に役立つのか」という背景を意識することが大切です。